

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 5 月 31 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2024 年 5 月 11 日
明治大学卒業予定年月	2025 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	米国
留学先大学	ノースカロライナ州立大学(日本語名) Northern State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2023 年 8 月～2024 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月中旬～12 月中旬 2 学期: 1 月上旬～5 月上旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	2851 人
創立年	1901 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため
宿舍費	5,568	872,651 円	水道・光熱費込み 1\$=156.93
食費	2,587	405,979 円	
図書費	80	12,554 円	教科書代
学用品費	2	313 円	Blue note fee
携帯・インターネット費	0	0 円	
現地交通費	0	0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	400	62,772 円	
医療費	0	0 円	
保険費	850	133,390 円	形態：留学先の大学で強制的に入らせられる保険です。これとは別に明大の保険も支払う必要があります。
渡航旅費	5,000	784,652 円	日本・アメリカの往復費用＋各都市への旅行費
ビザ申請費	510	80,034 円	
雑費	1,500	235,395 円	
その他		円	
その他		円	
合計	16,497	2,588,128 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:アバディーン 経由地:ミネアポリス

復路 出発地:アバディーン 目的地:成田 経由地:ミネアポリス、シカゴ、サンフランシスコ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:デルタ航空 料金:16 万円

復路 航空会社:デルタ航空、フロンティア航空、Zip Air 料金:14 万円 ∴ 合計:30 万円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)

☒ インターネット(サイト名:Sky Scanner)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

☒ 学生寮(寮の名前:GPE) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

学校の斡旋

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

1 学期目は英語力向上のために現地の学生と暮らしていましたが、体臭や生活リズム、部屋の中でも土足といった違いから、2 学期目は一人部屋に移りました。一人部屋の追加金は 450 ドルでした。

ほとんどの留学生は一人部屋、あるいは留学生同士で暮らしています。やはりアジア人同士のほうが生活スタイルが同じなので楽だと思います。

オススメの寮は GPE です。ここが一番安いうえ、最近建てられた寮です。安い理由は、他の寮と違ってトイレ・浴槽が共用であるためです。しかし清掃員の方が共用の所を清掃してくれるので清潔ですし、トイレトペーパーを補充してくれるので、購入する必要がありません。他の寮でトイレ・浴槽が共用でないと、自分で掃除とトイレトペーパーの購入が必要です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: ルームメイトの体臭がキツかったので、留学先大学の窓口で部屋の変更を相談した。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

留学先は田舎なので治安はすごくよかったです。ただ一度大学の近所で発砲音がありました。後日それが自殺未遂だったと警察が学校を経由して連絡がありました。

旅行先でニューヨークやシカゴといった大都市の治安が悪いと言われるエリアを興味本位で訪ねましたが、特段危険ではありません。ただ有色人比率がとても高く、街が少し汚れているくらいです。万が一のため、深夜にこれらのエリアで出歩くのを控えました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校の施設内はすべて Wi-Fi が繋がります。速度も問題はありませんでした。

友人のほとんどは Sim カードを購入して携帯電話を使用していましたが、私は楽天モバイルのローミングを利用していたので、Sim カードを購入しませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の Dacotah Bank にて口座を開けて、必要な時に親から送金してもらいました。お金が届くの 1 週間かかります。口座を開くと、大学のロゴが入ったデビットカードを入手できます。ふつうは学校の担当者と一緒に銀行に赴いて口座を開きます。ただ私の時は担当者の不手際があったため、後日、自ら銀行に行って口座開設しました。口座開設は簡単でした。

留学生は学校内でアルバイトが可能です。私は学内のコンビニで働いていました。時給は 12 ドル、週 20 時間まで働けます。バイトの種類としては、学内のコンビニ・食堂・ベーグル屋の 3 種類です。時給はすべて同額です。コンビニが一番楽なのでオススメです。食堂で働いていた友人は忙しそうでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本食。生活必需品はすべて手に入りますが、日本のお米やお菓子は手に入られません。ただポッキーやコアラのマーチはありましたが、煎餅といったものはありませんでした。現地のアジアマーケットで一部の日本食を入手できますが、高価でした。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

交換型だったので授業料は払いませんでしたが、寮代と食費は支払いました。口座開設前は Fly Wire という決済サービスで支払いました。ただ口座開設後は口座から支払ったので、手数料を取られませんでした。そのため口座は早めに開設したほうがいいと思います。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位		☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 一部の授業は事前に指定された授業の単位が取れていないと履修ができない		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Marketing		マーケティング
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Hannah Walters	
授業内容	マーケティングの基礎、企業のマーケティング戦略を考察	
試験・課題等	中間試験が 4 回。期末試験はプレゼン	
感想を自由記入	教授の英語が非常に綺麗で聞き取りやすい。マーケティングの基礎を教える講義なので難しくはない。しかしアメリカの企業の事例を用いて説明する機会が多かったので、その企業について知らないと、時々わからないことがあった。先生はとても親切なので、質問は非常に訊きやすかった。 毎週なにかしらの課題を課されるが、難しくはない。ただ全 4 回の中間テストは勉強しないと難しい。最終プレゼンは自分の興味ある企業を 1 つ選択して、その企業のマーケティング戦略を発表。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Organization and Management		組織マネジメント
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Daniel Shannahan	
授業内容	組織の構造問題を考察	
試験・課題等	2 週間に 1 回の頻度でレポートを提出。中間試験が複数回、期末試験が 1 回	
感想を自由記入	先生は非常に親切だが、とにかくスピーキングの速度が速い。先生はパワポを使用しながら毎回 75 分間休まず話していた。そのため授業だけでは内容を理解するのは不可能でした。 レポートは先生が提示した専門的な資料について書く。内容は小難しいが、先生の採点は甘めなので単位はとれる。 大学のアメフトの試合観戦中、偶然先生一家と遭遇し、一緒に観戦して仲良くなりました(笑)。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Communication		基礎コミュニケーション
科目設置学部・研究科	CMST	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Elizabeth Sills	
授業内容	主にスピーチの練習	
試験・課題等	毎週スピーチについての教科書の要約。4 回クラスの前でスピーチ。	
感想を自由記入	与えられたお題について 3～8 分ほどのスピーチをしました。当然現地の学生の前でするので緊張しました。一応教授からスピーチ中はカンペを見ないようにという指示はありましたが、多くの生徒はカンペを使っていました(笑)。 自分のスピーチが無いときは、他の生徒のスピーチについて評価しなければいけませんでした。正直ほとんど聞き取れませんでした。現地の学生のスピーチを見れる貴重な機会でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
United States history II		アメリカ史 II
科目設置学部・研究科	HIST	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Ric Dias	
授業内容	南北戦争～今日の米国	
試験・課題等	時々課題図書についてのレポート。試験は中間と期末 1 回ずつ	
感想を自由記入	教授が留学生好きでした。課題やテストも現地の学生とは違い留学生に配慮して採点してくれます。ただ板書が非常に汚いです。 数回教授が履修している留学生を自宅に迎えてパーティーを開いてくれます。他の留学生と親交を深められる授業でもあるので、オススメです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
History of Modern Asia		近代アジア史
科目設置学部・研究科	HIST	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回	
担当教授	Steven Usitalo & Ken Blanchard	
授業内容	主に日本のゾンビ・ホラー映画を視聴して、アジア独特の文化・表現法について考察	
試験・課題等	期末にまとめて毎週視聴した映画のレポートを提出。	
感想を自由記入	講義時間は長いですが、映画を見た後に内容について教授とほかの学生たちとディスカッションする授業でした。デスノートや雨月物語といった邦画を視聴しました。教授がアジアについて深い見識があり、欧米の映画との違いや映画に秘められた意味を解説してくれました。 外国人視点から日本映画の批評が聞ける貴重な機会であり、個人的に一番面白い授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Personal Finance		パーソナル・ファイナンス
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Joshua VanLaecken	
授業内容	アメリカにおける投資、保険、不動産、年金といった基礎知識を学習	
試験・課題等	毎週軽めの課題が課され、中間テストが複数回、期末テストが 1 回あった。すべてオンライン上で実施された	
感想を自由記入	授業は対面ですが、教科書、テストはすべてオンライン上でした。電卓を用いて計算することがしばしばありますが、そこまで高度なものではありませんでした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Banking		バンキング入門
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Douglas Ohmer	
授業内容	銀行の役割・業務の理解、中央銀行の機能について学習	
試験・課題等	毎週指定された教科書の問題を回答。中間試験が 2 回、期末試験が 1 回	
感想を自由記入	教授が定年のため、私が履修した授業が最後だと仰っていました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Organizational Behavior		組織行動
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Daniel Shannahan	
授業内容	秋学期に履修した Organization and Management の応用版です。	
試験・課題等	2 週間に 1 回の頻度でレポートを提出。中間試験が複数回、期末試験が 1 回	
感想を自由記入	秋学期に履修した Organization and Management をベースに、自身の性格分析や、回帰分析されたデータを読み取りました。回帰分析は自身でデータを集めて分析するのではなく、ただ分析結果のある論文を読むだけです。応用科目であるので、苦戦しました。 期末試験を寝坊してしまいましたが、追試を認めるくらい優しい教授です。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
United States History I		アメリカ史 I
科目設置学部・研究科	HIST	
履修期間	春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	David Grettler	
授業内容	アメリカの移民・開拓から南北戦争前まで	
試験・課題等	課題はなく、中間テストが 2 回、期末テストが 1 回あった	
感想を自由記入	課題はありませんが、教授の英語が非常に独特で全く聞き取れませんでした。私自身日本史選択だったために WW1 以前のアメリカ史の知識がなかったので、非常に苦戦しました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Weight Training		ウエイト・トレーニング
科目設置学部・研究科	PE	
履修期間	春学期	
単位数	1	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 2 回	
担当教授	Jack Oedekoven	
授業内容	筋トレマシンの使い方、ウォーミングアップの伝授	
試験・課題等	筋トレマシンの正しいやり方を録画して提出したのが 3 回、そして数回のクイズがありました。	
感想を自由記入	この授業は春学期の後半に開講されるので、8 週間のみでした。講師は教授ではなくアメフト部に所属する学生でした。 時々授業で学校のジムへ行き、マシンのレクチャーを受けました。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は 3 年の秋から 2 学期間留学をしていました。2 学期目の後半は、期末テストに近い時期だったが深夜にセミナーやオンライン面接をしていたので、非常に忙しかったです。この時期は勉強と就活、どちらも中途半端になってしまい、あまり有意義な時間ではなかったです。そのため休学なしで 2 学期間留学する場合は、4 年の春学期の時期と被らないようにした方が絶対いいです。

しかし留学の経験は ES や面接をする際のアピールポイントになるので、留学中に苦労したことや成功体験を言語化してメモしておく、就活の際に役立つと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

私は就活を始めたのが非常に遅く、また準備を全くしていませんでした。ただ少しだけして、もし納得する内定を得られなければ、院進するつもりです。校内選考で明治大学大学院へ行く場合は、GPA2.8 以上が必要なので、下回らないようにしましょう。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	IELTS 受験、学内選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	この時期までに留学に必要な書類・手続きを済ませる
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	1 学期目終了
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	2 学期目開始
	4 月 ～ 7 月	帰国/就活・進学準備
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

もともとはカナダの大学を第一志望にしていたのですが、落ちたのでこの大学になりました。この大学を選んだ理由は、大学の所在が沿岸部ではなく中西部なので物価が低いこと、留学生は寮への入居が義務付けられているので、自分で住む場所を探す必要がなかったからです。

大学の所在地の町は田舎なので、平日は基本キャンパス内で過ごします。授業時間外の時間が多くなるため、積極的な色々なコミュニティに参加して友達を多く作りましょう！また私は大学の施設であるジムに行ったり、2 学期目からは大学内のコンビニでバイトしていました。週末は毎週ホストファミリーの方と食事や外出をしました。私のホストファミリーには 3 人のお子さんがいるので、お子さんのホッケーの試合を観戦したり、BBQ を一緒にしました。また他の友達のホストファミリーとも仲良くなったので、その方たちとも交流しました。

この大学の学生、教授はみなさん本当に親切ですし、地域の方も同様です。どこの場所でもそうですが、自分と異なるバックグラウンドの方と交流するのは刺激的な経験になると思います。

留学には確にお金がかかりますが、大学からの給付型の奨学金や留学先でバイトをすれば結構抑えられると思います。ありきたりですが、留学にはもちろん苦労やトラブルが伴います。しかしそれを遥かに上回る貴重な体験を得られます。とりあえず時間とお金に余裕があれば、1 学期間でもいいので躊躇せず留学をしてみてください！